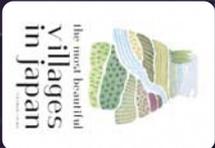




広報



ま づ ぎ き

2022
3

SAKANPARTPART
~伊豆の長八伝~
No.694



SAKANPARTPARTコンサート~伊豆の長八伝~ (1/29)
漆喰鏝絵の名工・入江長八を題材とした動読劇(動きと朗読を交えた劇)が行われ、
松崎中学生と町民有志らが約4カ月間の演技稽古の成果を披露しました。

防災教育が求められる

自助・共助・公助とは

家庭と地域が一つになり、防災を日常生活の一部として根付かせる大きな一歩が防災教育です。文部科学省が推進する「**学校安全総合支援事業**」のモデル地域となつて2年。松崎町では、児童生徒が防災・安全教育に対して、主体的に取り組むための心の教育「**防災道徳**」を実践しています。

通じて、子どもたちの「自助」・「共助」の意識が向上していることを実感しています。

そして、子どもの安全・安心には、学校と関係機関、保護者や地域の皆さまとのつながりが重要です。コロナ禍によつて学校と地域との連携の場を持てずにはいますが、今後は応急救護といった訓練を、保護者や地域の皆さまとともに実施していきたいと考えています。

来年度も学校安全総合支援事業を継続し、タブレットなどのICT機器や防災ノートを活用しながら、子どもたちの心に防災が常にあるよう、防災の日常化を目指していきます。

来年度も学校安全総合支援事業を継続し、タブレットなどのICT機器や防災ノートを活用しながら、子どもたちの心に防災が常にあるよう、防災の日常化を目指していきます。

教育長 佐藤みつほ

- ◇自助…一人一人が自ら取り組むこと
- ◇共助…近隣の人たちが一緒に取り組むこと
- ◇公助…国や自治体などが取り組むこと

令和3年度 文部科学省指定「松崎町学校安全総合支援事業」

事業目標

- ◆児童生徒が自分の命を守ることに ついて、自分で考え、自分で行動する力を育成するとともに共助に対する意識の向上を目指す。

活動の重点

- ◆児童生徒の安全意識の向上・・・防災道徳を中心に防災について考える
→ 児童生徒が主体的に動く力の育成
- ◆教員の資質向上・・・幼小中の全職員を対象とした研修、防災道徳の実践
→ 新たな取り組みを通して視野を広げる
- ◆安全教育体制の構築・・・地域防災訓練への参加、学習成果の伝達
→ 学校から地域へ防災の輪を広げる

1年間の成果と課題

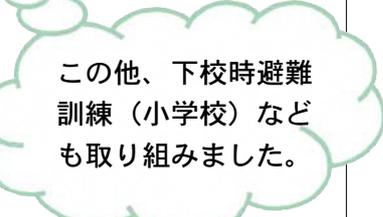
〈成果〉

- ◆昨年度に引き続き本事業の指定を受け、新たな取り組みの実施や、関係機関との連携により防災教育に取り組んだことで、教員や子どもたちの安全意識が向上している。
- ◆防災道徳で災害場面をイメージしながら考えることを通じて、子どもたちが防災をより身近なものとして考えられるようになってきた。
- ◆各種の防災学習、交通安全教室がそのときだけのイベントとならず、継続した取り組みになるよう、教員が日常的に子どもたちへ働きかけている。

〈課題〉

- ◆コロナ禍において、学校と地域の連携を推進することができなかった。新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを含めて、防災学習における地域との関わり方を考えたい。
- ◆防災道徳を実践したが、研修の場の確保や事例を共有する場を設定したい。

松崎町学校安全総合支援事業の取組紹介

活動内容	活動の様子		
幼小中 一貫研修会 6月16日実施 (幼小中教員)	 ①	 ② 教員の資質向上 ①町消防防災係長の講義 ②地震災害時イメージトレーニング (グループワークと共有)	
幼稚園防災講座 10月27日実施 (幼稚園全園児)	 ③	児童生徒の安全意識向上 ③賀茂地域局による 防災ダック	 ④
小学校防災講座 6月15日 7月8日、15日 11月10日実施 (小学4年)	 ⑤	 ⑥ 児童生徒の安全意識向上 ④賀茂地域局によるアプリを使った防災講座 ⑤災害図上訓練 静岡大学との連携 ⑥地震体験車使用 など	
中学校防災講座 6月30日 10月15日実施 (中学1年)	 ⑦	 ⑧ 児童生徒の安全意識向上 ⑦賀茂地域局による災害時判断ゲーム ⑧避難所運営訓練 静岡大学との連携など	
AR体験 9月8日 (小学4・6年) 9月9日 (幼稚園年長児)	 ⑨	 ⑨ 児童生徒の安全意識向上 ⑨AR体験、 防災担当の講話	
防災道徳授業研修 7月7日 (小学校) 10月27日 1月26日 (中学校)	 ⑩	 ⑩ 児童生徒の安全意識向上、 教員の資質向上 ⑩防災道徳授業 (小学校、中学校)	
防災講演会 12月7日 (小学4・6年) (幼小中保護者)	 ⑪	 ⑪ 児童生徒の安全意識向上、 安全教育体制の構築 ⑪岩手県山田町元危機管理室長 白土さん講演会	
実践委員会 7月20日 1月27日 (町・園・学校・教委)	 ⑫	教員の資質向上 ⑫学校安全アドバイザーによる講義、防災道徳についての情報交換	 <p>この他、下校時避難訓練 (小学校) なども取り組みました。</p>

継続決定

賀茂地方税債権整理回収協議会

『特別滞納整理チーム』

税金の滞納整理を徹底強化します

納付できない事情のある方は、お早めにご相談ください

賀茂地方税債権整理回収協議会『特別滞納整理チーム』は、税の公平性を確保するため、徹底した滞納整理を行う組織として、静岡県と賀茂地域6市町が共同して平成28年4月に発足しました。

当町においては、これまでに、滞納者の預貯金や給与、生命保険の契約状況など財産の調査を8千件以上行ってきたおり、発見した財産の差押えは約300件で、3100万円以上を滞

納税に換価してきました。また、延べ5千件を超える納税催告や約100件の分割納付相談を行ってきました。

こうした滞納整理の取り組みにより、平成28年発足当初の滞納者数は、約700人でしたが、令和2年度末には約200人にまで減少しました。また、国民健康保険税を含めた町税全体の収納率は、平成27年度末の85.5%に対し、令和2年度末では、96.6%と11.1

ポイント向上しました。

回収協議会は、2年に一度体制の見直しを行っていますが、令和4年度からの2年間についても組織を継続し、さらなる徴収体制の強化を図ることを決定しました。

税金は納期限内の一括納付が原則です。滞納にならないよう、納期限までに納付してください。

【問合せ】

窓口税務課(42)3968

町税および国民健康保険税 年度別徴収実績比較表

区分	調定額			収入額			収入未済額			収入率		
	現年分 A 千円	滞繰分 B 千円	合計 C 千円	現年分 D 千円	滞繰分 E 千円	合計 F 千円	現年分 千円	滞繰分 千円	合計 千円	D/A ×100 現%	E/B ×100 滞%	F/C ×100 計%
平成27年度	929,528	157,847	1,087,375	894,333	35,367	929,700	35,195	122,480	157,675	96.2	22.4	85.5
平成28年度	911,457	135,699	1,047,156	889,890	48,187	938,077	21,567	87,512	109,079	97.6	35.5	89.6
平成29年度	886,636	92,332	978,968	868,256	28,742	896,998	18,380	63,590	81,970	97.9	31.1	91.6
平成30年度	820,135	70,157	890,292	804,369	17,476	821,845	15,766	52,681	68,447	98.1	24.9	92.3
令和元年度	813,532	38,716	852,248	794,724	14,455	809,179	18,808	24,261	43,069	97.7	37.3	94.9
令和2年度	774,919	30,528	805,447	764,171	13,736	777,907	10,748	16,792	27,540	98.6	45.0	96.6

伊豆松崎分校広報～「地域に学び 地域に生きる人」

「地域に学び 地域に生きる人」の育成をめざして

静岡県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校は、松崎高等学校内にある賀茂地区唯一の特別支援学校高等部です。令和3年度からは、新たに開校した伊豆の国特別支援学校の分校になりました。

「地域に学び 地域に生きる人」を学校教育目標に、自立や社会参加など「夢の実現」のため日々の学習に取り組んでいます。今回は、地域で行っている活動を紹介します。

活動① 桜葉の活動

松崎町役場や桜葉振興会と協力し、年間を通して桜葉の育成・収穫に取り組んでいます。生徒たちは、指導を受けながらさまざまな活動を通して地域の産業を学んでいます。活動内容は、大島桜の種まき、葉の収穫・選別・まるけ、台刈りなど、さまざまです。桜葉餅は、他市町から通う生徒たちにもなじみ深いため、自分たちの桜葉作業が桜葉餅など地域の特産品につながっていることを感じつつ、地域で働くことの意味を学んでいます。



▲収穫する葉の良否について指導を受ける生徒

活動② 桜田地区での活動

体験的な活動を通して将来働くための力をつける学習の一つに公園や花壇、公民館、避難地など学校周辺の清掃や整備活動があります。活動の中で、生徒は道具の使い方や手順など作業のコツをつかんだり、自分で考え工夫して取り組んだり、声かけや分担・協力をしたりします。特に、地域の人との協働活動は、コミュニケーションの力を高める機会となっています。きれいになった公園などを見て、達成感や自分の成長も感じることができる活動です。



▲学校周辺の公園の整備に取り組む生徒

活動③ 松崎小花壇、松崎町役場

授業の一つに作業学習があります。ものづくりを行う学習では、陶芸・木工・農園芸の各班に分かれて作業をしています。農園芸班は野菜と花の栽培を行っており、時期や成育対象により日々異なる活動を行うことで、対応できる力を身につけることを目指しています。花については、松崎高等学校や松崎小学校の花壇、松崎町役場にも活動の場を広げています。花のある生活に周囲からお誉めの言葉をいただけており、生徒たちのやりがいにつながっています。



▲小学生に花の植え方を教える生徒

地域とともに歩み10周年を迎えました

他にも桑葉の活動、石部棚田、青空市（作業製品販売）、桜田区三世代交流田植えなど、地域の皆さまと一緒に活動したり、ご協力いただいたりして伊豆松崎分校は、10周年を迎えることができました。これからも地域や松崎高等学校などと積み重ねてきたつながりを大切に、誰もが夢と希望を持ち地域の担い手となれるよう取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【問合せ】 伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校（43）2737

賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターの取り組みについて



賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターは、賀茂郡の6市町から「在宅医療・介護連携推進事業」の委託を受け、平成28年5月から下田メディカルセンター内に開設し、住民の皆さまが住み慣れた地域で療養生活が送れるよう、医療・介護・福祉・消防・松崎町・静岡県を担当者を交え、地域の救急・医療・介護・福祉の連携強化に向けた取り組みをしています。その一環として、在宅療養情報を作成し、「人生会議＝ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」についてさまざまなご案内をしています。

今後も住民の皆さまに向け、回覧やホームページで在宅療養の情報や講演会開催の情報を発信していきますので、ぜひご覧ください。



▲ホームページ

【問合せ】 賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センター (25)3535

軽自動車の手続きはお早めに

軽自動車税(種別割)は、4月1日現在で原動機付自転車・軽自動車・小型特殊自動車・二輪の小型自動車を所有している方に課税されます。廃車や名義変更などの手続きが4月1日を過ぎてしまうと、1年分の税金を納めていただくことになります。

手続きが済んでいないと毎年課税されるため、トラブルの元になります。手続きは4月1日(金)までをお願いします。

《こんなときは手続きを》

所有者や所有者の住所が変更になった場合は、申告が必要です。下表の各届出先で必要書類などを確認し、手続きを行ってください。

- ◆所有者が町外へ引っ越しをする場合は、住所変更などの手続き
- ◆所有者が死亡した場合は、名義変更・廃車などの手続き
- ◆盗難にあった場合は、警察に盗難届を出して、廃車の手続き
(盗難届を出しただけでは課税され続けます)
- ◆解体処理業者などに解体を依頼した場合は、ナンバープレートや車検証などを回収し廃車の手続き
- ◆知人などから譲ってもらった・知人などへ譲った場合は、名義変更の手続き
- ◆三輪以上の軽自動車、または125ccを超える二輪車を県外で廃車したり、住所変更、名義変更などの登録変更した場合は、所定の手続きに加え、町への税止めの手続き

軽自動車の種類	届出場所・問合せ先
■ 125cc以下の原動機付自転車 ■ 小型特殊自動車 ■ 50cc以下のミニカー	松崎町役場 窓口税務課 (42)3968
■ 125cc～250cc以下の軽二輪車	静岡運輸支局沼津自動車検査登録事務所 055(5540)2051
■ 軽自動車(軽三輪・軽四輪)	軽自動車検査協会静岡事務所沼津支所 050(3816)1778
■ 250ccを越える二輪の小型自動車	静岡運輸支局沼津自動車検査登録事務所 050(5540)2051

【問合せ】 窓口税務課 (42)3968

松崎町花の会が

「ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール」

最優秀賞を受賞

松崎町花の会が「令和3年度ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール」の地域花壇部門（100平方メートル未満）で、最高賞の最優秀賞を受賞しました。

最優秀賞を受賞した建久寺の花壇について、松崎町花の会の方々は「県道沿いであり交通量の多い所ですので、自動車でもきれいと感じ

てもらえるよう、立体感や配色を意識して花を植栽しています。そういった点が評価されたのではないかと思います」と受賞の喜びを語りました。

会長の平野清子さんは「これを励みに、これからも頑張ります」と話しました。

【問合せ】

企画観光課(42)3964



▶町長への受賞報告



▶最優秀賞を受賞した建久寺花壇

文部科学省

優秀教職員賞を受賞

松崎幼稚園の青木文枝教諭が、文部科学省の優秀教職員賞を受賞しました。

青木教諭は、幼児教育の要である遊びを通して、主体的に動く子どもたちの育成を呼び掛け、保育の質の向上に努めています。また、学校安全総合支援事業の推進役として活躍し、園児に対する豊富な育成力などが評価されました。



▶避難訓練で地震発生後の動きについて話す青木文枝教諭

【問合せ】

教育委員会(42)3971

地域おこし協力隊活動レポート

奥野 雅史

Vol. 16

令和3年度の木工塾も最後のカリキュラムに入り、難易度の高い整理箱を頑張つて製作しています。今年度は多くの塾生に恵まれ、途中足並みがそろわない時期もありましたが、塾生同士の助け合いもあり、無事にカリキュラムを修了することができそうです。そんな一生懸命作業する塾生の姿に、木工の魅力について改めて教えてもらったような気がします。



▶松崎工房前で自作の椅子と

私事ではありますが、松崎工房の木工塾で木工技術を指導できたことが幸いし、地域おこし協力隊2年目満了を期に、今後は木工を仕事として必要とする人材の育成に努めていく運びとなり、松崎町を離れることになりました。この場をお借りし、これまで温かく見守ってくださった多くの方々に感謝します。

来期も引き続き、木工塾は開催されます。これからも松崎工房の木工塾が地域の役に立つ存在であり続けるためにも、協力隊後継者を斡旋することができたらと考えています。

2年間本当にありがとうございました。

【問合せ】

企画観光課(42)3964



かき菜の酢の物

地場産物の
「かき菜」を使った
レシピ



－ 材料（4人前） －

- ・かき菜…………… 200 g
 - ・わかめ…………… 40 g
 - ・ゆず…………… 1/3個
- 調味料A
- ・砂糖…………… 大さじ 1
 - ・酢…………… 大さじ 3
 - ・塩…………… 小さじ 1/2

－ 作り方 －

- ①かき菜は下茹でをしてから縦半分に切り、幅1cmで干切りにする。
- ②わかめは水で戻し、食べやすい長さで切る。ゆずは皮を干切りにする。
- ③調味料Aを混ぜ、全ての材料を合わせる。

【問合せ】 健康福祉課 (42)3966

エネルギー	タンパク質	脂質	炭水化物	食塩相当量
14.7 kcal	0.2 g	0 g	3.2 g	0.6 g

町長コラム 第3回

美しく温もりのあるまちづくり

松崎町長 深澤 準弥

町のどこそで春を感じられる季節になってきました。松崎町では町民有志が中心となり、田んぼをつかった花畑事業を継続しています。昔から花は人の心を豊かにする力を持っており、人を惹きつけてきました。田んぼの花畑も見頃を迎えつつあり、那賀川沿いの桜並木、里山の山桜など、5月のGW（大型連休）まではたくさんの方が当町を訪れ、癒やされることと思います。12月の議会定例会の中でも、花畑や桜並木についての質問があり、まちづくりの1つの施策として地域の皆さまとともに進めていき

たい旨、回答させていただきました。今月号の記事にもありますが、松崎町花の会の皆さんが、長年活動してきてくださった功績を礎に、静岡県の花緑コンクールで最優秀賞という栄誉を受賞されました。心からお祝いし、感謝申し上げます。松崎町は、地域の方々のこうした支えの上に成り立っていると感じています。各方面で地道な活動を続けてくださっている皆さまに敬意を表し、この美しく温もりのある精神文化を次世代へと継承していきたいと強く感じました。

My Town Topics ～まちのできごと～

SAKANアートワールドカップ



1月29～30日、環境改善センターで町伝統の漆喰文化継承に向けたSAKANアートワールドカップが開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客でのライブ配信となりましたが、国内外から5人の左官職人が巧みな技術を披露したなまこ壁コンテスト、漆喰をテーマにした講演会、町民有志らによる入江長八の物語を題材とした動読劇などが行われました。

川のり収穫

1月下旬から那賀川や岩科川の河口付近で、冬の味覚として親しまれる「川のり」の収穫が行われました。川のりは、スジアオノリと呼ばれるアオノリ的一种で、強い西風で水温が下がる厳冬期に、淡水と海水が混じる河口で育ちます。松崎川のり会の鈴木敬司事務局長は「今年は10年ぶりの大豊漁です。去年に比べ川のりの質も良く、長いものでは1疋以上伸びています」と話しました。



伊那下神社節分祭－鬼やらひー



2月3日、伊那下神社で節分祭－鬼やらひーが行われました。神事では、森宮司の祝詞奏上に続いて関係者が玉串をささげた後「福は内、鬼は外、コロナ退散」の掛け声に合わせて、集まった方たちが拝殿に向かって豆をまき、1年間の健康やコロナ終息を祈願しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、餅まきは中止となり、袋につめたものが配布されました。

栄久ぼんかん贈呈

2月4日、三余農園の土屋人さんと丸高農園の宇野満里加さんから、栄久ぼんかんを松崎幼稚園と聖和保育園の子どもたちへ贈呈していただきました。土屋さんは、栄久ぼんかんの歴史をわかりやすく伝えるために紙芝居を作成し、その紙芝居を通して、栄久ぼんかんは、特別に甘くて良い香りのする松崎町にしかない特別なぼんかんであることを子どもたちに伝えました。



ストロップ！ 悪質商法被害

あなたも賢い消費者に！

「成年年齢引下げ 18歳で成人に」契約トラブルに注意を！

本年4月1日から、現在20歳を成人とする民法が改正され18歳で成人となります。

未成年者には「未成年者取消権」という規定があり、仮に誤って不必要な契約をした場合であっても、未成年者にはその契約を取り消すことができる旨の規定があります。

このため、消費生活相談のデータをみると、10代の相談件数と比べ、20

代になると相談件数は激増する傾向がみられます。つまり悪質事業者は、社会経験が必ずしも十分ではないが、成人として扱われる年齢層、いわば「初心者マーク付きの成人」を狙っているといえます。特に近年では、SNSを利用したマルチ取引的な投資情報などの儲け話に関する事案などが目に付きます。十分に注意してください。

（文と絵）司法書士 山田茂樹
【問合せ】 企画観光課
（42）3964



松崎文芸

俳句

川岸のひかり流れて猫柳
冬耕に伴う鎌も先まろし
世の移り猫柳見ぬ堰多し
残照や暮れるに早し老ひの春
朝風に川光る日よ猫柳
仁科川陽当り畑のネコヤナギ
園児らの列のほぐるる猫柳
松崎に鶯笛渡り石路の花
艶めける枝のびのびと猫柳
今妻は食費節減菜喰
梅咲きて解体終る石の倉
道すがら土大根を持たされり
指切りの路地暮れゆけば猫柳

夏目和子
石田 宏
土屋規矩子
鈴木 基
吉岡うた子
小林 一郎
斎藤みつ子
細矢金治
清水高子
山本 一詞
松田美智子
深澤 順子
渋谷みどり

町の人口と世帯

(令和4年1月31日現在)
()内は前月比

総人口	6,147人	(-4人)
男	2,906人	(-3人)
女	3,241人	(-1人)
世帯数	2,906戸	(+3戸)
転入	19人	転出 8人
出生	1人	死亡 16人

(1月届出分) 戸籍だより

おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
櫻田	喜人	男	佐藤喜代実

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
雲見	高橋完成	70	高橋智子
櫻田	山田あや子	97	松本清美
雲見	高橋幸之助	84	高橋博幸
伏倉	山本千代子	90	山本英美
江奈1	藤池三彌子	78	齋藤 忍
南郷	土屋君子	78	土屋 興
江奈3	小林ふみ	97	小林重樹
櫻田	石田多恵美	75	石田茂喜
石部	高橋はるゑ	98	高橋 平
江奈4	糸川 直	86	糸川昭子
金沢	菊池京子	95	菊池 茂
岩地	齋藤昭光	79	天野やよい
雲見	稲葉愛子	86	稲葉浩二

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

令和4年1月発生分

()内は前年同月比

人身事故	0件	(-2)
物損事故	4件	(-2)
死者	0人	(±0)
傷者	0人	(-3)